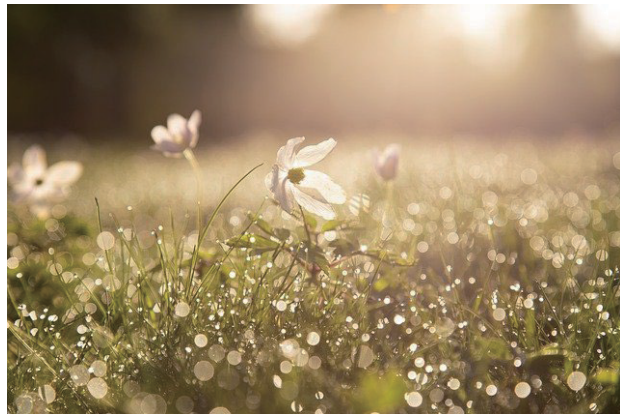


かけはし

足柄上病院の病院理念

- 「あ」: 安全で安心な医療を提供します。
- 「し」: 社会の要請を担う政策医療を展開します。
- 「か」: 患者中心の医療を実践します。
- 「み」: 魅力ある自立した病院を目指します。



初夏号(通刊 第70号)

「未病コンディショニングセンター」開設 ～受診してみませんか?～

センター長(整形外科) ^{くさやま}草山 ^{よしひろ}喜洋

「未病」という言葉をご存じでしょうか。「未病」とは「健康」と「病気」の間の状態です。

人の状態は「健康」か「病気」の2つだけで分けることはできません。例えば、病院を受診したけれど特に病気の診断ではないと。でも以前とは何かが違う。具体的には、散歩の時間がかかるようになった、歩く距離が短くなった、足がつまずきやすくなった、なんとなく足腰に自信がなくなってきた等々の変化です。通常の外来では病気が診断されれば必要な治療が行われます。しかし、病気ではないと診断された場合は健康としてよいのでしょうか?加齢や疲労のせいにして我慢していればよいのでしょうか?そのような未病の状態を放置していると、徐々に病気に近づいていくことが考えられます。今までは、病気でなければ病院としての積極的な医療行為は行われていませんでした。さらに、コロナ禍の影響や受診控えもあり、未病は増加の一途をたどっている状況です。そこで、このような未病を改善することを目的とした「未病コンディショニングセンター」を開設することとしました。

実際にどのようなことを行っていくのか、流れを簡単にご案内させていただきます。

当院では、運動機能系を主に、整形外科の専門外来として「未病コンディショニングセンター」を開設し、火曜日の午後、整形外科の外来で診察を行います。

まず、整形外科にて採血、レントゲン、骨密度の検査、診察を行います。

(万が一、なんらかの病的所見が認められれば未病ではなく、病気として治療となります。)

その後、リハビリ、栄養指導の予約を取っていただき、未病に対する身体の状態を整えていきます。一人一人の状態に応じた食事指導やリハビリプログラムを行い、6か月間の継続を目標とし、最終評価の検査を行います。



「未病コンディショニングセンター」スタッフ

「平均寿命の延伸を上回る、健康寿命の延伸をはかること」は、神奈川県がかながわ健康プラン21で掲げた目標です。

健康寿命は、健康問題で日常生活が制限されずに生活できる期間、介護なしで元気に暮らせる期間のことです。未病改善は神奈川県が以前から力をいれてきた政策の一つであり、当院を含む県西地域は県内でも高齢化率が進んでいる地域であり、介護の問題は他人ごとではありません。

要介護、病気になってからではなく、未病のうちに専門外来を受診してみませんか。

着任のご挨拶

事務局長 たかなし のぶゆき
高 梨 信行



このたび、事務局長に着任いたしました高梨です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

私は、昭和63年に、新採用職員として足柄上病院の医事課に3年間勤務しておりました。当時は、今の立花学園高校の隣に独身寮があり、そこから通勤をしておりましたが、休日には、川音川の河原でバーベキューをやったり、花火大会を観戦したりと思い出がいっぱいあります。

そのような場所に約30年ぶりに戻ってきて、当時と変わったところ、変わっていないところ両方を見ながら、やはり懐かしい思いでいっぱいです。

令和2年4月に、足柄上病院は、新型コロナウイルス感染症「神奈川モデル」重点医療機関に指定され、多くの患者さんを受け入れてまいりました。

その間、通常の入院や手術を制限するといった状況があり、現在も、すべての病棟で入院患者さんへの面会を原則禁止するなど、地域の皆様にはご迷惑をおかけしております。一日でも早く、ウィズコロナの新しい生活様式になるよう頑張っております。

また、令和3年3月には、「地域医療支援病院」の承認を受けました。これは、地域の病院・診療所の医師から、より詳しい検査や、専門的な医療が必要と紹介された患者さんに対して、適切な医療を提供することを目的とした病院のことで、承認後1年が経ちますが、これにより、地域の皆様が安心して医療を受けることができると考えております。

しかし、こうした取組は、地域の医療機関や関係行政機関など様々な立場の皆様との連携が欠かせないものです。今後とも地域の医療ニーズや病院理念を常に意識しながら事務局として精いっぱい努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



着任紹介

よろしくお願いいたします。

経営企画課 課長

かやま しげき
加山 茂樹



検査技術科 科長

おかべ がいち
岡部 雅一



3A 病棟 科長

すずき みえ
鈴木 美絵



5B 病棟 科長

いけだ ともこ
池田 智子



手術室 科長

ふじかけ かおり
藤掛 香



救急外来 生田看護師の、

沖縄県医療支援派遣報告

沖縄県の感染状況と医療従事者

沖縄県は全国で先駆けてコロナ第6波がやってきました。人口10万人あたりの新規感染者数は500人を大きく上回りました。感染者が増加するとともに濃厚接触者の対象となつて働くことのできない医療従事者が増加しました。

1月13日時点で沖縄県内の90の医療機関で合わせて989人となり（沖縄県 感染や濃厚接触者などの医療従事者 989人（13日現在）—新型コロナウイルス— ニュース 閲覧日 2022年1月30日）医療の現場はひっ迫することが考えられました。

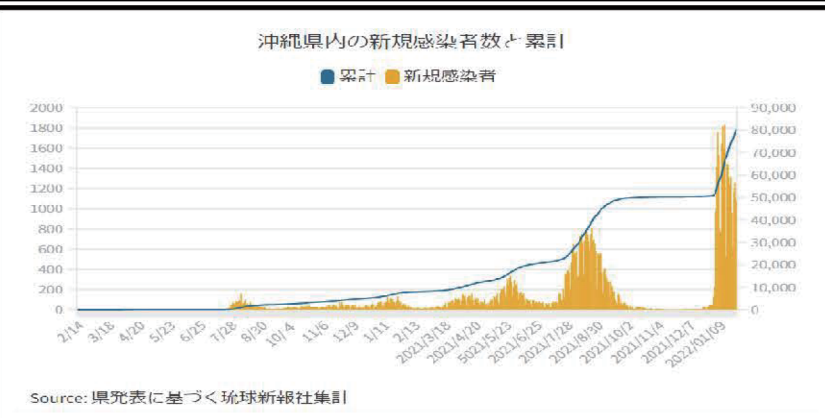
沖縄県知事より派遣要請

沖縄県知事より全国知事会を通して、医療者の派遣要請がなされました。派遣内容は病院支援。医療従事者の不足に対応し、病院機能が維持できるように派遣要請がなされました。



沖縄行ける？

「災害派遣です。沖縄です！行けるかしら？ひとりです。なるべく早くに出発です。期間は2週間〜1カ月」と。一人で行くことは不安でしたが、支援に行くことを決意して準備を始めました。期間は1月19日〜2月1日の2週間と決定しました。



新型コロナウイルス -琉球新報デジタル | 沖縄のニュース速報・情報サイト
(ryukyushimpo.jp) 閲覧日 2022年1月30日

発行：生田正美
救急看護認定看護師



派遣先は「友愛医療センター」

那覇空港から南に車で10分、豊見城市にあります。2020年8月に新しくなった病院。地上8階378床を有する地域の中核病院。救急はドクターカーで出動！離島からヘリ搬送！が多くありました
院内外で迷子に…

広い故に…方向音痴の私。更衣室で迷子、病棟フロアで迷子（フロアから出れない！）院内で迷子、駐車場で迷子…駐車場では自分の止めた車の位置がわからず10分以上さまよい…やっと帰ることができました。泣



社会医療法人友愛会 友愛医療センター (yuai.or.jp) より引用 閲覧日1月30日

所属はICU病棟！ コロナ対応チームへ！

コロナICUは5床。呼吸器管理が必要なコロナ患者さんが入院していました。初日に思ったこと「オミクロンは軽症ってウソじゃないか!!」でした。そんなことを思いながらも10年ぶりのICU！呼吸器管理、Aラインの管理、ノルアドレナリンの計算と管理など日々のケアでしたが、一つ一つ思い出しながらのスタートでした。それ以上に難しかったのが、足柄上病院とは違う電子カルテシステム、メーカーの違う呼吸器や輸液ポンプの扱いにとまどいました。教えていただきながら患者さんを受け持ち、日中の看護業務を担当しました。

コロナ病棟へのリリース

Nsステーションのみグリーンゾーン、その他すべてレッドゾーンでした。午後レッドゾーンに入ると17時まで出ることができず…高齢で全介助の感染が多くシャワー浴、おむつ交換等ケアのためレッドゾーンから出ることが難しかったです。

沖縄あるあるを聞く

沖縄の人は5分以上歩かない、すべて車移動、自転車に乗らない、1年中ビーチサンダル、紅芋タルトは給食で出る（コンビニのスイーツコーナーに売っている）天ぷらはおやつ、糸満のおじい漁師が多くこだわりが強い…などなど

最後に…

災害派遣に伴い、病院機構、総務課、看護局、救外看護科長、救外のみなさま、清水先生、DNAのみなさまによるサポートをいただき無事に任務を終了することができました。こころより感謝申し上げます。

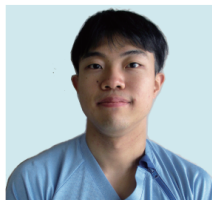


足柄上病院のドクター紹介～令和4年度 新任の医師～

〔 ①診療科 ＊専門分野・得意分野 〕

黒沼 尚仁
(くろぬま なおひと)

① 総合診療科
よろしくお願いいたします。



木下 魁
(きのした かい)

① 総合診療科
＊ 総合診療一般



三谷 啓介
(みたに けいすけ)

① 消化器内科
これから消化器を専門として励んでまいります。



高田 龍司
(たかだ りゅうじ)

① 循環器内科
＊ 循環器一般



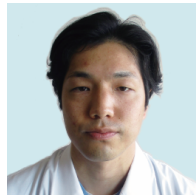
上村 紘生
(うえむら ひろき)

① 循環器内科
＊ 循環器一般



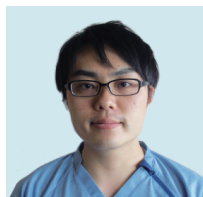
金本 滯
(かねもと れい)

① 外科
＊ 消化器外科



中山 雄太
(なかやま ゆうた)

① 外科
＊ 消化器外科



松本 淳一郎
(まつもと じゅんいちろう)

① 整形外科



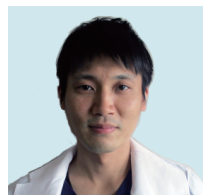
清水 裕貴
(しみず ひろき)

① 整形外科



小泉 充之
(こいずみ みつゆき)

① 泌尿器科 医長
＊ 泌尿器癌・腹腔鏡手術



百瀬 菜奈
(ももせ なな)

① 麻酔科
＊ 一般麻酔



よく
お願いします

◇令和4年5月12日現在の外来診療体制です。

*** 予約制**

令和4年5月12日

※現在、産科、母乳外来、放射線科、麻酔科は受け付けておりません。

ご協力いただいている関係医療機関の皆さまへ

地域医療センター長 よしえ こういちろう 吉江 浩一郎
地域医療連携室長 くにし ようすけ 國司 洋佑

2020年初頭に始まった新型コロナウイルス感染症の流行はいまだ完全な収束に至らず、現在は第6波の只中におります（3月4日執筆時点）。この2年間、当院では社会要請を受けて感染症病床の増減を繰り返してきました（0床～28床）。

感染症病床を増やす際には、一般病床の一部を閉鎖しなくてはなりません。そのためには患者さんに部屋の移動や早期退院をお願いし、病室の内装を感染症用に変更します。また、それに併せてスタッフの配置替えや教育（業務シミュレーション）を行う必要があります。この作業に毎回病院を挙げて取り組んでまいりました。感染者数の爆発的な増加スピードに対応するため、一時的に救急診療や手術を制限し、院内感染（クラスター）を予防するために、発熱患者さんへの診察には特別な注意を払って対応しております。

近隣の関係医療機関の皆様には、その度ごとの状況において大変なご負担とご心配をおかけしましたが、皆様からは非常に協力的なご対応を賜り誠にありがとうございます。この場を借りて深く御礼申し上げます。

寄附金の活用について

当院が新型コロナウイルス感染症の重点医療機関となって以来、一般の皆様や事業者の皆様から医療資材や寄附金など様々なご支援をいただいております。誠にありがとうございます。

いただいた寄附金についてはコロナ対応のための工事など、様々に活用させていただいておりますが、今回はこの寄附金で購入した医療機器をご紹介します。

まず、紫外線を照射して除菌作業を行うことができる機器を導入しました。これにより、陽性患者の方を受け入れたエリアの清掃負担を軽減し、院内感染のリスクの低減を図っています。



飛沫などを吸引する装置

また、患者さんの飛沫などを吸引する装置を、内視鏡室と歯科口腔外科に導入しました。その結果、飛沫から感染するリスクが低減され、安全に医療行為を行うことができるようになりました。

今後とも、皆様からのご寄附を有効に活用させていただき、地域の医療を支える医療機関として期待される役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えています。



紫外線を照射して除菌作業を行う機器

新規導入装置の紹介（放射線検査部門）

主任放射線技師 中村 ひろき

2022年2月に当院の回診用X線撮影装置2台を更新しました。



富士フィルムヘルスケア製

: Sirius Starmobile tiara airy

回診用X線撮影装置とは、分かりやすく言うと、レントゲン写真の出張撮影用の装置です。通常の外来でいらっしゃる方にとってはあまり縁のない装置ですが、レントゲン写真を撮影する部屋に来ることが困難な方、例えば、手術後の患者さんや、体を動かしにくい方など、主に病棟に入院されている方を撮影する場合に使用します。

また、同時にFPD（フラットパネルディテクター）装置も導入しました。こちらは、デジタルカメラの様なもので、撮影した画像をその場ですぐに見ることができ、フィルムでいう現像の作業が必要なくなるので、円滑に業務を遂行することが可能となります。また、フィルムのサイズも大きくなっているため、より画角の広い画像を撮影することが可能になっています。

今後も、足柄上病院放射線検査部門では患者さんへの検査が「安全」で「正確な情報」をスムーズに伝えられるように日々の業務に取り組んでいきます。

食べることの重要性

シリーズ① 五大栄養素

栄養管理科

どうして食事をするのでしょうか。

私たちが生きていくためには、身体の働きや機能を維持するため、食べ物や水分を摂ることは欠かせません。「美味しく食べる」「楽しく食べる」ことで心が満たされ、日々の生活への活力を得られます。精神的にも食事を通して、人との交流や人間関係を作りあげるといった社会生活にも大きな影響を与えます。

「お腹が空いたから」「美味しいから」と食事をする理由は様々ですが、私たちにとって口から食べることは、身体的・精神的・社会的にも重要な役割があったのです。

食べ物には、私たちが健康に生活していく上で必要な栄養素があります。炭水化物・タンパク質・脂質・ビタミン・ミネラル。これらを5大栄養素といいます。



炭水化物



タンパク質



脂質



ビタミン



ミネラル

炭水化物は体内ですぐにエネルギーに変わり、タンパク質は体を作る材料です。脂質は一番効率よくエネルギーになり、ビタミンは成長の補いや健康維持に欠かせない栄養素ですが、食事で摂取しなければ私たちの体の中でほとんど作ることができません。ミネラルも同様に食事から摂取し、体の発育や歯や骨の構成材料など、大きな役割として重要です。

このように私たちの日々の食事は、これらの栄養素をバランスよく摂取していると、より身体が健康に保たれます。今日のメニューはバランスを意識しながら決めてみてはいかがでしょうか。

足柄上病院レストラン

足柄上病院レストランは、院内の患者さんの食事を提供している株式会社エム・ティー・フードが運営しています。

日替わりランチ・週替わりランチ、カレーや麺類などのフードメニューの他、挽きたてコーヒーやソフトドリンクなどもご用意しています。



毎週火曜日の日替わりランチは、低カロリーでもきちんと満腹感のある献立「低カロリーメニュー（約 500kcal）」をご用意、また季節のイベントに合わせた献立「スペシャルランチ」もおすすです。



毎週水曜日には、秦野市南が丘にある当社直営店の惣菜・お弁当のお店「食工房 絵夢亭」の手作り弁当も販売しています。

お食事はもちろん、ご休憩などにも、ぜひご利用ください。

火曜日と金曜日、食堂でパンの販売を行っています



小田原市にある店舗

『ブランジェリー モン・サン・ミッシェル』は、地元小田原に店舗を構えて 12 年目を向かえるパン屋です。以前は「足柄上病院」や「こども医療センター」で入院患者さんの病院食やアレルギー患者さんなどの特別食を十数年つくっていました。その経験を生かし、パン作りには安心、安全を心がけております。

当店で作っている全てのパンは新鮮な牛乳と良質なバターを使っており添加物などは一切入っていないので優しい味わいが特徴です。ただ、一部の商品の中身が手作り出来ていないところが今後の課題です。

「人は美味しいものを食べると不思議と微笑んでしまう」
そんな小さな幸せが訪れるパンを作ることを常に心がけております。
ぜひ、ご来店ください。



「未病コンディショニングセンターを開設しました」

「最近転びやすくなった」「足腰に自信がなくなってきた」…運動器の機能が低下しはじめた人を対象に、運動や食事療法など、生活習慣改善の処方により、症状の改善や重症化予防を図ります。

毎週火曜日 午後 2 時～4 時 **予約不要** (8 人まで)
受付 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
整形外科外来 (1 号館 2 階) で診療

足柄上病院 75 周年記念誌を作成中です。現職、OB や OG など幅広い世代に資料、写真等の提供を募っています。提供できる方は、記念誌担当までご連絡ください。
問合せ先：足柄上病院経営企画課 ☎0465-83-0351 (代)

発行：神奈川県立足柄上病院 〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 866-1

(TEL) 0465-83-0351 (FAX) 0465-82-5377 <http://ashigarakami.kanagawa-pho.jp/>

編集：神奈川県立足柄上病院経営企画課 (内線) 5520

 神奈川県立
足柄上病院